



議会だより

なよろ

平成 28 年
12 月定例会

第 43 号

平成 29 年 1 月 1 日
発行



目 次

定例会で決まったこと	2
新年のごあいさつ・議員協議会	3
議決結果・意見書	4
一般質問に 14 人	5 ~ 11
各常任委員会視察研修報告	12 ~ 14
各委員会活動報告	15
きぼう・編集後記	16

題字 名寄小学校 福田 桃子(ふくだ ももこ)さん

平成28年 第4回定例会 11月30日～12月16日

介護人材確保緊急対策事業
費など6,102万5千円の
一般会計補正予算を可決

平成28年第4回定例会は、11月30日から12月16日までの17日間開かれました。30件の議案について審議しました。最終日に会期内で市民福祉常任委員会に付託された「介護保険法及び介護保険法施行令の改正に伴う介護保険関係条例等の整備に関する条例の制定について」を委員長報告のとおり原案可決しました。議案審議では条例案8件、補正予算案6件、その他16件、請願1件、意見書案6件を審議しました。12月14日、15日、16日の一般質問では14人の議員が市政の課題について質問しました。

条例の制定及び一部改正等
介護保険法及び介護保険法施行令の改正に伴う介護保険関係条例等の整備に関する条例の制定
平成29年4月1日より事業が開始される介護予防・日常生活支援総合事業について事業の概要が固まったことから関係各条例の文言整理を行うもの。また、介護保険法施行令の一部を改正する政令により介護保険料の段階の判定に関する基準の特例として、合

計所得金額から長期譲渡所得及び短期譲渡所得に係る特別控除額を控除した額を用いることができるようになり、原則として3年間同一の保険料率を用いることとされていた介護保険料を平成29年度から新しい所得指標を用いることとしました。
定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について
名寄市及び士別市と周辺11町村と締結している定住自立

圏形成協定について、医療・福祉分野におけるさらなる連携について取り組みの充実を図るため協定の一部を変更するものです。

主な補正予算

臨時福祉給付金給付事業費
消費税引き上げに伴う負担の影響を緩和するための経済対策の一環として、所得の低い方々に対し、臨時的な給付措置を行うための経費として6,727万円を追加。
介護人材確保緊急対策事業費

市内介護保険事業所への就職を促進するため介護職員初任者研修の受講費用又は就職支度金の補助のために84万円を追加。

新規就農者支援事業費
就農認定を受け就農された方や農業研修生受け入れ農家の方などに対し助成するため190万円を追加。

商店街等活性化関連補助金
街なかになぎわい事業や店舗支援事業など名寄市中小企業振興条例に基づき助成するために468万3千円を追加。

迎春

市政クラブ・新緑風会

東 千春

大石 健二

佐々木 寿

山田 典幸

東川 孝義

塩田 昌彦

川口 京二

黒井 徹

市民連合・凜風会

熊谷 吉正

佐藤 靖

奥村 英俊

高野 美枝子

佐久間 誠

山崎 真由美

浜田 康子

公明

高橋 伸典

日本共産党

川村 幸栄

名風会

野田 三樹也



新年のごあいさつ

名寄市議会議長 黒井 徹

新年明けまして、おめでとございます。市民の皆様におかれましては輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から、議会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

昨年は北海道に三つの台風が上陸し、各地に甚大な被害をもたらしました。被災された方々にあらためてお見舞いを申し上げます。名寄地方は被害も限定的で農作物の作柄も概ね良い結果で推移し安心しています。

名寄市も合併から10年が経過して第二次の総合計画が示され、新たなまちづくりが本年から始まります。若い世代が自信を持って子育てができ、高齢者の方々が安心して生活できる「まち」を目指していきたいと思えます。

私たち市議会議員も市民に信頼していただき、市民の声を充分に行政に反映する事を目標に議会改革議論を進めているところです。

一つには、議会報告会の充実として、実施回数を増やし、多くの団体との意見交換会を行い「まちづくり」を共に協議して参りたいと考えています。もう一つは、市議会には三常任委員会を設置していますが、それぞれが所管の行政課題を把握し、その課題の解決に向けて調査研究を継続して行い、常任委員会自らが施策提言をできるように積極的に議論展開をすることです。残された任期中に議会改革調査特別委員会にて、市民の意見を拝聴しながら協議して参りたいと思えます。

今、日本は人口が減少し高齢化社会に突入致しました。今まで経験したことのない事態を向かえています。国は地方を創出し、地方を元気にする事がこれからの国づくりには重要と言われていると思いますが、そう容易な事ではないと思えます。しかし、その事を目指し市民が幸せを実感できる「まちづくり」を進めたいと思えます。

最後になりますが、今年も皆様が健康で幸せな年になる事をご祈念申し上げます。

議員協議会（平成28年11月30日・12月13日）

第4回定例会開会日の11月

30日、議員協議会が開かれ、名寄市総合計画（第2次）の実施計画、名寄市中期財政計画、名寄市行財政改革推進計画の策定に向けた基本的な考え方について説明を受けました。総合計画（第2次）実施計画案では平成29、30年度の前期計画として五つの基本目標に基づく個別事業は277事業、165億5,605万円とすること、中期財政計画では平成29年度は約9億円、平成30年度は約6億円の収支不足が見込まれ基金を取り崩して対応するとの説明を受けました。また、今後の財政課題として、普通交付税の合併算定替えの減額や老朽化する公共施設への対応など本市の財政状況は楽観視できる状況ではないとし、財政規律（ガイドライン）を設け、健全な財政運営に努めると説明がありました。

議員から、「総合計画（第2次）の実施計画案には具体的な事業計画が明確になってい

ない」と指摘があり、詳しい資料の提出を要望しました。

12月13日に開催された議員協議会では、前回の議員協議会に引き続き、名寄市総合計画（第2次）の実施計画について、各年度における事業費、実施予定期間などが追加された資料をもとに説明を受けました。公共施設等の老朽化への対応として、施設の複合化や特定財源等の確保などが課題となり、人口減少や少子高齢化など社会経済情勢の変化への対応が重要と説明がありました。議員からは、地域医療の充実、高齢者施策の推進、観光の振興などに對して質疑が出されました。



平成28年第4回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	介護保険法及び介護保険法施行令の改正に伴う介護保険関係条例等の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（和寒町）	原案可決
議案第3号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（剣淵町）	原案可決
議案第4号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（下川町）	原案可決
議案第5号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（美深町）	原案可決
議案第6号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（音威子府村）	原案可決
議案第7号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（中川町）	原案可決
議案第8号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（幌加内町）	原案可決
議案第9号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（西興部村）	原案可決
議案第10号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（枝幸町）	原案可決
議案第11号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（浜頓別町）	原案可決
議案第12号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（中頓別町）	原案可決
議案第13号	工事請負契約の変更について〔名寄市立大学図書館建設工事（建築主体工事）〕	原案可決
議案第14号	指定管理者の指定について（名寄市北国雪国ふるさと交流館）	原案可決
議案第15号	指定管理者の指定について（名寄市畜産物処理加工施設）	原案可決
議案第16号	損害賠償の額を定めることについて	原案可決
議案第17号	平成28年度名寄市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第18号	平成28年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第19号	平成28年度名寄市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第20号	平成28年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第21号	平成28年度名寄市食肉センター事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第22号	平成28年度名寄市病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第23号	名寄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第24号	名寄市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第25号	名寄市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第26号	名寄市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第27号	名寄市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第28号	名寄市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第29号	工事請負契約の変更について〔名寄東小学校校舎改修工事（建築工事）〕	原案可決
議案第30号	名寄市議会基本条例の一部改正について	原案可決
請願第1号	「現行の介護保険サービスの継続と介護従事者の処遇改善を求める意見書」提出の請願	原案可決

（賛否の分かれた議案）

（賛成） ×（反対） 欠（欠席） 退（退席）

議案番号	件名	議員名	市政クラブ・新緑風会 議										市民連合・凜風会				公 共 名	
			東川	塩田	川口	山田	大石	佐々木	東	黒井	浜田	山崎	奥村	高野	佐久間	熊谷	佐藤	高橋
請願第1号	「現行の介護保険サービスの継続と介護従事者の処遇改善を求める意見書」提出の請願	孝義	昌彦	京二	典幸	健二	寿	千春	徹	康子	真由美	英俊	美枝子	誠	吉正	靖	幸栄	三樹也
								退		欠							退	

公（公明） 共（共産党） 名（名風会） 議（議長） 議長は表決に加わりません。

第4回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

子ども医療費助成制度の創設を求める意見書

ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進により駅ホームの安全性向上を求める意見書

安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書

地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書

現行の介護保険サービスの継続と介護従事者の処遇改善を求める意見書

JR北海道宗谷線存続を求める意見書

一般質問



若い声をまちづくり

市民連合・凜風会 山崎 真由美 議員

投票率向上のための対応は

問 選挙権年齢引き下げへの対応と、子ども議会（仮）など若い世代のまちづくりへの関心を高める取り組みは。

答 18・19歳の投票率は全体の投票率より低かったものの全道平均を上回った。今後も市立大学構内での投票啓発や選挙コーナーの設置、期日前投票所の開設、高等学校近郊へのポスター掲示場設置などの取り組みを充実させる。また、学生の自発的な投票意識が高まるよう検討したい。子ども議会（仮）開催は、参加者の広がりや継続性の面で現段階での実施は難しい。市長、教育長による子どもたちとの懇談会は行っており、総合計画（第2次）のわかりやすい概要版完成後は、子どもたちに配付し、まちづくりへの意識高揚を図りたい。

問 スポーツ・合宿の振興を
ウィンドサーフスポーツコ

ンソーシアム事業の成果と課題、今後のスポーツ振興の展望は。

答 事業の一つでもあるローラースキー競技会の市街地開催は、冬季スポーツの拠点化を市内外に強く印象付ける機会となった。市民、企業団体の協力でできたことも大きな成果。しかし、イベントが続くと、推進体制の強化が必要となる事も考えられる。時間をかけながら業務を整理し、必要な人員配置も併せて協議し、来年度からさらにステップアップできるような形を考へていく。



市街地で開催されたローラースキー競技会



市民が主役のまちづくり

市政クラブ・新緑風会 大石 健 二議員

設置5年を経た営戦の今

問 営業戦略室が設置されて5年が経過した。加藤市長の肝いりで民間会社の経営改善等の手法を導入し、分散していた事務事業の統合を行い行財政運営の効率化を図るべく設置された営業戦略室。5年を経た今、どのように総括しているか。

答 主に商工業や近隣市町村との観光振興を担当している。観光関係の人材連携・育成など各種事業を展開。営業戦略室の新設で組織及び事業の活性化に成果を上げている。しかし、残された課題も多く、さらなる取り組みが必要だ。

過重な除排雪を苦に離名

問 冬期間の雪かきや雪下ろし作業等の重労働作業から逃れるため、戸建て住宅を処分して道管集合住宅への転居、また縁者を頼って旭川や札幌、さらには降雪や積雪とはおおよそ無縁の本州へ転出する高齢

者世帯が後を絶たない。除雪サービスの恩恵にも浴さず、家計の支出を極力抑える高齢者世帯が、思案・熟慮の末に転居に踏み切る、こうした「除排雪離名」に対する対応は。

答 昨年12月から本年11月までの65才以上転出者は121名、札幌市39名をはじめ旭川33名、道外12名。転出の理由は把握してはいないが、29年度から除雪助成券対象世帯に屋根の雪下ろしの助成を実施すべく検討している。



年を取ると雪かきはきつい。ここらが潮時（しおどき）か、と考えるとう。

一般質問



宗谷線維持と観光の充実を

市民連合・凜風会 佐久間 誠議員

北の天文字焼きの宣伝は

問 北の天文字焼きが現在配布されている観光パンフレット等に掲載されていない。また、今年度は雪質日本一フェスと同時開催でないのは何故か。火文字のギネス挑戦への支援策について伺う。



ギネス認定に期待高まる北の天文字焼

答 紙面は市の担当も内容について確認を行っている。掲載されていないことに関し反省し来年度から掲載する。今年度は開催時期が違うが、雪質日本一フェスと連動した周知PRを図られるよう働き

かけをして参りたい。「ギネス挑戦を支える会」が発足したと聞いており、要請があれば対応を検討して参りたい。

各地区の期成会と共に努力

問 宗谷線の維持で九月以降の要請等での特徴的な経過と、今後の活動の視点、安定的な鉄路の維持運営について経営安定基金の運用益を国に当初策定の500億円をまず担保させ、物流路線としての位置づけ、インバウンドなどでの利用を沿線自治体と連携し進める事が必要ではないか。

答 旭川市が中心となり、上川、宗谷、オホーツク圏の期成会と連携し取り組む動きが出てきた。国にJRへの支援について要望するとともに、物流の視点、インバウンドやサイクリングでの列車積込利用等も大事だと考える。

他の質問・ピヤシリ山の夏季活用と宣伝・再生エネルギー、コージェネレーションの活用。



間口維持に全力を

市政クラブ・新緑風会 川口京二議員

名寄産業高校間口の維持を

問 今後の中卒者数や欠員の状況等から道教委では、名寄市内での間口の調整が必要としているが、名寄産業高校の間口が削減されないか。

答 平成28年度公立高校配置計画では、平成32年度から平成35年度の4年間で1学級相当の調整が必要とある。市は、道教育委員会教育長に要望書を提出し、平成31年度までの間口削減は、見送られた。本年度中に平成32年度以降の望ましい間口や学科の在り方について協議をすることとなり、現在道教委の担当者や市内高等学校との協議を進めている。

免許自主返納について

問 高齢者が運転免許証を自主返納しやすい環境づくりが必要ではないか。

答 買い物や通院などに利用できる公共交通として名寄地区市街地を循環する徳田線

とコミュニティバス、郊外と市街地を結ぶ8系統の各バス路線が運行しているが、今後モ日常的な移動手段を確保するためバス路線の維持確保に努める。運転免許返納者に対するバス・タクシーの割引等の支援については、運転免許証を保有していない高齢者に対する支援策と不均衡を生じることから難しいと考える。

他の質問・ENRAYホールについて・浅江島公園について・ファミリー・サポート・センターについて



間口維持は大丈夫？

インバウンド：外国人が訪れずれてくる観光旅行のこと
コージェネレーション：熱源より電力と熱を生産し供給するシステム

一般質問



冬季の登下校の現状

問 豊西小閉校後の通学路安全対策
 通学路の歩道除雪と関係部署との協議状況について

答 歩道除雪は主に通学路や幹線道路を中心に実施しており、新たな歩道除雪路線の選定などは警察や教育委員会などと協議し選定している。通学区域変更における登下校時の安全対策については、学校や保護者の要望、PTA・安全安心会議などの関係団体で協議がなされ、交差点の横断歩道、信号機の設置、危険箇所「飛び出し注意」の看板を設置するなどの対策を講じてきた。今後も、危険な箇所

の対策として、現地調査の実施など安全確保に向け対応していく。

問 住宅改修等推進事業について

答 住環境の整備等の対策として開始した住宅改修に係る施工費用助成事業は、11月末現在52件の交付決定、施工業者の取扱件数も約30件となり、市内の建築関係事業所の振興等に一定の効果があつた。事業の実施にあたり、市内の施工業者への説明会や「なる経済サポートネットワーク」の協力により商工団体や金融機関等に周知を図つたことが効果的であつた。今後の事業のあり方として名寄にあつた仕組みを模索していきたい。

他の質問・大学経営の現状と将来展望について・ウインタースポーツコンソーシアム事業の継続開催について

問 最小経費で最大効果
 29年度予算編成に向けた市長訓令、総務部長事務連絡は例年以上に財政見直しの厳しさが強調されているが、名寄市における財政課題など各種展望との整合性及び連動性。さらに総合計画(第2次)を核とする各種計画との整合性は。一方、上半期も赤字計上となつた市立総合病院の経営健全化のため、地域における同病院の役割明確化とともに、開業医を誘致する施策が必要ではないか。

答 国の地方財政に対する動向を含め、市の財政は楽観視できる状況にはない。しかし市民ニーズに応える施策の展開は諸計画に基づき重要。最小の経費で最大の効果を求めていきたい。病院の役割分担の確立方策については検討する。

問 市民合意はあるのか
 総合計画実施計画で来



温浴施設の改修計画が浮上したなよろ温泉サンピラー

年度、サンピラーの温浴施設改修に2億円計上している。同施設改修は経営安定を導くものと言い切れるのか。さらなる改修も検討されているのではないか。市内の公衆浴場の状況もあり、経営安定の道筋、改修のあり方などについて市民、議会側と議論を深めるべき。再考を。

答 今回の改修で、日帰り入浴30%増を目指している。緊急や費用対効果という観点で理解をいただきたい。



市政クラブ・新緑風会 塩田昌彦 議員

冬季通学路の安全対策



市民連合・凜風会 佐藤靖 議員

厳しい財政と合意形成

一般質問



市政クラブ・新緑風会

佐々木

寿議員

住み続けられる地域社会に

公共施設の再生の見通し

問 公共施設等総合管理計画の目標値13%縮減の見通しは。また財源確保の考え方は。

答 大学図書館、同新棟、南小等の改修、一方で、市民会館や望湖台、公営住宅の取り壊しなど一定の縮減を進めている。今後、公共施設等検討ワーキンググループなど庁内各部横断的な議論を進め、主要な公共施設は、将来人口の予測と照らし合わせながら、公共施設の統合、複合化、長寿化などを十分検討し、着実に推進したい。また、地方債に関する管理計画に係る国からの地方財政措置として3点あるが、特例期間や充当率、交付税算定率等様々だが、他の財源措置と比較しながら有効な手法を考えていく。

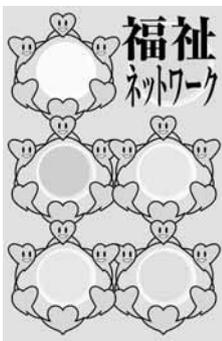
家族介護環境の充実

問 家族介護に対する支援、将来の考えは。また、介護休業制度の普及について見解は。

在宅介護の本市独自の支援

答 在宅介護の本市独自の支援では、認知症高齢者見守り事業、家族介護用品支給事業、家族介護者交流事業の3つを行っている。29年度から紙おむつ処理用ごみ袋の支給を検討している。「育児・介護休業法」は広報やホームページで周知をしたが、施行に合わせ市職員への制度周知、活用を促進を率先して取り組み、市内事業所にも波及させたい。

他の質問・民生委員・児童委員の活動及び補償について



家族介護のための福祉ネットワーク



学校トイレ洋式化へ

問 文部科学省により全国の公立小中学校のトイレについて行った調査結果では、洋式便器は43・3%、道内では51・3%である。本市の現状と今後の対応は。

答 本市の小中学校全体での洋式化率は47・3%となっている。トイレ単体での改修には補助金など充当できる財源がないことから、早急な改善は困難だが、絶対数が不足していることは認識している。今後も各学校の要望を聞きながら、年次的に整備をしていきたいと考えている。

除排雪の支援について

問 本市は雪が多く豪雪地域であり、毎年各町内会からたくさんの方の除排雪に関する問い合わせがあるかと思うが、町内会への支援状況と今後の課題は。

答 まちづくり懇談会の中でも町内会との十分連携を



名風会

野

田

三樹也議員

学校と町内会のために

取った対応が必要とされたことから、協働により調査していき作業手法を工夫しながら、排雪や間口除雪などの課題についても効果的かつ効果的な運用について調査・研究をしていく。

他の質問・EN RAYホルルを利用する高齢者への対応について・買い物弱者への対応について



生活道路も拡幅作業で幅員確保を

一般質問

ごみ処理の今後は



市政クラブ・新緑風会

東

千 春 議員

これからのごみ処理は

問 名寄市の将来望ましい分別と費用を含めたりサイクルのあり方は。老朽化が進む炭化センターの今後の考え方と焼却を選択した際にはごみと木質バイオマスの混焼発電を検討しては。

答 名寄市が行うリサイクルの収集処理費は約8,860万円、リサイクル品の販売額は約850万円となっている。リサイクルと埋め立てのバランスを考慮した分別を検討したいが、炭化センターの次期のごみの中間処理方法によって大きく左右される。炭化センターはメーカーの撤退で主要部品が調達困難、炭化炉が一系統のため炉本体修繕には数カ月かかる。又炭化処理は全国で4か所稼働しているが全てが焼却施設に切り替えられている。バイオマスとの混焼発電はエネルギーの有効利用と共に分別の考え方に

も影響

するこ

とから、

燃焼工

ネルギ

ーの有

効活用

を念頭

に調査

する。



老朽化が進む炭化センターの今後は

JR存続について

問 国や道に対する要望とJRのこれまでの集客の取り組みやこれからの集客に対する沿線住民と自治体の協力について。

答 宗谷本線活性化推進協議会と共に旭川市を中心とした動きも出ており連携して訴えたい。JRが行うイベントもあつたが、結果は出ていない。利用者増にはインバウンドを始め人を呼び込むことが必要だと考え、住民とも連携した活動を行いたい。

いじめ防止の取り組みについて



公明 高橋 伸 典 議員

絶対にいじめは許されない

問 本市のいじめ防止基本方針の策定内容といじめ防止に係る取り組みについて。

答 いじめの根絶に向けた「名寄市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期解消のために対策を推進している。本年6月のアンケートで「今もいじめられている」と10件の回答があつたが、事実を確

認し校内で検討した結果、いじめとして認知する内容ではないと判断した。また「いじめられた時、誰にも相談しない」と答えた児童生徒が全小学校で4%、全中学校で13%と一人で悩みを抱え込む可能性のある児童生徒がいることが大きな課題である。

問 高齢ドライバー安全対策

答 全国的に相次いでおり課題となつている。運転免許証自主返納への本市の対策は。



市内小中学校の「いじめ防止サミット」

答 運転免許証自主返納を促進するための、返納者に対してのバスやタクシーの助成券交付の取り組みは運転免許証を有していない高齢者も多く不均衡が生じるため市独自の制度化は難しいと考える。国は、高齢運転者による交通事故防止対策に関する関係閣僚会議を開催し、対策を早急に講じるよう指示をした。関係行政機関における対策の検討を促進するため「高齢運転者交通事故防止対策ワーキングチーム」を設置し検討する通知がきており、市としては国の政策を注視する。

一般質問



市民の健康と教育

市民連合・凜風会 高野 美枝子 議員

保健センターのあり方

問 乳幼児の健康づくりなど保健センターが果たす役割や保健師の地区担当制の取り組みについて。また、不妊・不育治療の経済的負担軽減について市の取り組みは。

答 母子支援事業として妊婦一般健康診査費用助成、こんにちは赤ちゃん訪問など妊娠・出産期から切れ目のない支援に努めている。今後は子ども子育て支援として「子育て世代包括支援センター」の整備を検討する。保健師の地区担当制については関係部署と連携し支援を進め、保健師の資質向上に向け研鑽する。また、保健センターと市立大学との連携を強化し地域課題の解決に取り組む。不妊治療については2017年度予算に向け制度設計を検討している。北海道の助成決定者を対象に市の独自支援で負担を軽減したい。不育治療について

は今後研究する。

市立名寄図書館の将来構想

問 昭和45年に建築し46年が経過した。老朽化も激しく多額の修繕費が必要とされている。老朽化対策や図書館の将来のあり方について。

答 全国各自治体の図書館の事例を情報収集し図書館協議会に情報提供しながら、名寄市にあった場所や方向性を市民と議論し夢のあるものを検討する。

他の質問・大学の将来構想について・コミュニティケア教育研究センターについて・市民に開かれた大学について

農業振興施策について

問 次期総計や次期農業・農村振興計画における中長期的な視点での施策展開について考え方を伺う。

答 生産基盤の整備などによる農地の透水性の改善や、地力増進による収量・品質の向上に取り組むとともに、農産物の販路拡大を進めていく。労働力確保に向け法人化の推進や、作業受託やコントラクター組織の育成も視野に入れていく。担い手対策については、ソフト・ハードの両面での支援体制を構築し担い手育成を図っていく。

地域と共にある学校づくり

問 智恵文小・中学校におけるコミュニティ・スクール導入等促進事業と小中一貫教育実施に向けての現在の状況は。また、それらを推進する上で学校施設等のハード面での整備も必要になると考えるが、今後の計画について伺う。

コミュニティ・スクール

答 コミュニティ・スクールについては現在、保護者などで組織する推進委員会において協議を進めており、次年度智恵文小・中学校をコミュニティ・スクールに指定し学校運営協議会をスタートさせる。小中一貫教育については、平成30年度の本格実施に向け準備を進めている。学校施設は一体型が望ましいと考えおり、智恵文中校舎を活用した一体化も視野に入れ、地域と議論を進めていきたい。



保健センターでの乳幼児健診



地域とともにある学校づくりの推進を
(写真は智恵文小学校)

一般質問



核のゴミ持ち込ませない

市民連合・凜風会 奥村英俊 議員

条例の尊重

問 国は特定放射性廃棄物（核のゴミ）の最終処分について、年内にも地層処分に適した科学的有望地を公表する方針で、幌延町がその候補地に挙がるといわれているが、北海道の条例と市民の安全・安心の観点から、市長の立場で反対を表明すべきと考えるが、いかがか。

答 「北海道における特定放射性廃棄物に関する条例」は「現在と将来の世代が共有する限りある環境を、将来に引き継ぐ責務を有しており、こうした状況の下では、特定放射性廃棄物の持込みは慎重に対処すべきであり、受け入れ難いことを宣言する」と規定しており、条例が尊重され、市民の皆さんの安全・安心が確保されなければならないと考える。また、北海道、幌延町、核燃料サイクル開発機構による「放射性廃棄物を持ち

込まない、最終処分場としなさい」とした三者協定が遵守されるべきものと考ええる。



出続ける核のゴミ、北海道は受け入れ拒否

介護人材確保に助成金

問 介護人材の確保と今後の対応について伺う。

答 両施設で20名の空きと15名の介護職員の不足で状況は改善されていないが、市内全体の介護人材確保と合わせて1月から実施の介護人材確保緊急事業を活用し、4月に向けて人材確保に最大限の努力をしていく。



制度の市民周知徹底を

日本共産党 川村幸栄 議員

国保の新制度について

問 平成30年度から実施予定の国民健康保険の都道府県単位化について、制度の内容、保険税額、軽減措置など、どのように変わるのか。道の資料では収納対策強化が示されているが、滞納者への対応は、

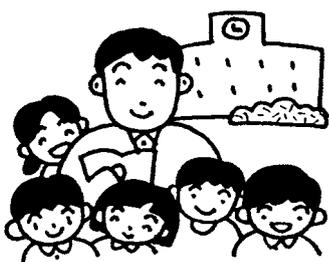
答 国保は、国民皆保険制度の根幹として重要な役割を果たしているが、加入者は高齢者や低所得者が多く、財政基盤が脆弱であるという構造的な問題を抱えている。これまでのように市町村が長期に安定した運営を行うことが難しい状況となっており、ことから都道府県が財政運営や事業運営の中心的役割を果たすことになった。第1回目の一人当たりの保険料は9・7%の増となっているが、第2回目の仮算定は来年1月に行われる予定。

細やかな対応をしていく。

就学援助の充実を

問 制度の周知については、申請書の配布の仕方やわかりやすい内容、また対象項目の拡充など要望が実現。大変喜ばれている。さらに他市でも実施が進む入学準備金の前倒し支給の考えは、

答 就学援助の案内は、1月中に各小中学校に送付し保護者全員に配布。世帯の前年の収入金額により認定となるが、3月支給では前々年度の所得となり事務が複雑となる。当面は現状のまま対応。



必要としている子どもがもれなく制度の利用が出来るように

総務文教常任委員会視察報告

深川市・札幌市・函館市・北斗市

当委員会では8月22日から24日までの3日間の日程で4自治体、6項目のテーマを設定し視察を行いました。残念ながら深川市は台風による大雨災害の事後対応のため視察の時間が取れないことから、資料のみを受け取つてきました。

札幌市立資生館小学校は都心部にある子ども関連複合施設で、市内4つの小学校を統合し、ミニ児童館、保育園、子育て支援総合センター併設する小学校です。少子化に伴う適正規模化、全市的に利用可能な保育園の設立、子育て支援事業の具体化などの地域要望を取り入れ、地域コミュニティの再構築を目指した複合施設です。交流企画として各事業の共同参加や合同避難訓練、総合学習での赤ちゃんとのふれあいなど、枠を超えた交流事業が行われていました。

では代表理事の荒井宏明氏から「本のあるまちづくり」をテーマにお話を伺いました。北海道の読書環境では公共図書館、学校図書館ともに良い状況にありませんが、図書館を核とした、まちのコンパクト化によって市民満足度が向上した事例を伺いました。今後の図書館のあり方として、貸出数を競うのではなく地域課題を解決する手助けなど新たな発想やその地域にあったコンセプトが必要とのことでした。

公立はこだて未来大学では社会連携センターについて視察しました。社会連携センターは大学と地域社会との多様な連携・協力を推進することを目指し、3つの柱として「社会とのつながりを重視した実践」「社会の技術的・経済的発展への貢献」「社会の未来を市民と共に創る」を掲げています。大学の特徴であるIT技術を利用した地元産業への貢献や企業誘致のサポートも手掛けていました。



北海道内4自治体6項目を視察しました

函館市では食育推進について視察しました。子どもの食育には、「はこだてげんきな子食育プラン」を策定し、キヤラクターを使った子どもたちにも分かりやすいパンフレットを作成しています。また6月に食育の日を定め、大型書店で開催した市民周知のイベントには約3,000名の来場者があったとのことです。

北斗市では総合文化センター「かなでくる」の運営を視察しました。ホール、公民館、図書館を持つ複合文化施設で、図書館では絵本の読み聞かせや童話の集い、夜の図書館など工夫された事業を行っています。複合施設のためホールイベントの待ち時間にも図書館を利用することもあるとのことでした。

議会日誌 10~12月	
10/18	総務文教常任委員会 議会報特別委員会
10/26	北海道市議会議長会正副会長会議・役員会(帯広市)
10/27	全国市議会議長会基地協議会北海道部会定期総会(千歳市)
11/8	北海道市議会議長会中央実行運動(東京都)
11/9	全国市議会議長会理事
11/21	会・評議員会(東京都)上川北都市町村議会議長会道外行政視察研修会(三重県、奈良県)
11/22	経済建設常任委員会総務文教常任委員会(帯広市)
11/24	経済建設常任委員会市民福祉常任委員会森林・林業・林産業活性化推進議員連盟研修会
11/28	各会派代表者会議議会報特別委員会議会運営委員会各会派代表者
11/30	平成28年第4回定例会開会
12/2	議員協議会
12/7	議会改革調査特別委員会
12/12	議会運営委員会
12/13	市民福祉常任委員会
12/14	議員協議会
12/15	各会派代表者会議
12/15	議会運営委員会
12/16	各会派代表者会議
12/16	定例会閉会
12/19	議会報特別委員会
12/19	議会改革調査特別委員会
12/20	議会報特別委員会

市民福祉常任委員会視察報告

帯広市・釧路市・上士幌町

平成28年8月8日から10日の3日間の日程で帯広市、釧路市、上士幌町の3市町4事業の視察研修を行いました。

帯広市の「十勝リハビリテーションセンター（福祉村構想）」は、これからの長寿社会は健康寿命を基礎に創られてゆく必要性があることから、その骨格を「医療と介護」の統合・リハビリのアカデミズム・看取り等をコンセプトに「リハビリ・サービス付き高齢者住宅・介護老人保健施設」を一体化し自立支援型社会を目指しています。人材育成についても介護支援から自立支援へと先をみた取り組みが進められていました。

釧路市の「生活保護自立支援政策」では、平成15年当時の釧路市は厳しい地域経済の影響で失業率、離婚率が高く被保護母子世帯を対象とした国の自立支援モデル事業に取り組みました。これまでの「指示・指導」の管理型から

脱皮し、対象となる母子世帯の「自立に繋がる事業」を模索し、介護保険法に抵触しない作業（利用者の話し相手や洗濯物をたたむなど）に着目し実践しました。26人中16人がホームヘルパーの資格を取得し、12人が就職しました。

この取り組みが事業基盤となり、子育て支援、企業ボランティアからの就職、福祉事務所にプチハローワーク開設、就労支援等の政策など事業展開の幅が広がりました。

釧路市の釧路孝仁会記念病院の「幹細胞による再生医療」は、病気やケガで失った臓器や器官、組織の再形成と加齢により引き起こされる症状の治療研究を施療するものです。同病院の施療は患者の腹部から容易に採取できる脂肪組織由来の間葉系幹細胞を培養し使用。低侵襲で多くの幹細胞が取得可能で臨床応用に適しているとのこと。すでに再生医療計画18件が厚生労働省に

受理されており、治療過程を記録した映像では脳梗塞で麻痺が残る患者の回復状況が紹介されました。再生医療の取り組みは、北海道地区においても期待が高まるものと予想されます。

上士幌町の「ふるさと納税と子育て支援事業」では、まちづくりの柱に子ども子育て支援、人口減少対策と基幹産業の農業を結びつけた政策としての戦略を強調。具体的には「都市と農村の交流」を掲げ、「スロータウン」の魅力を情報発信。ふるさと納税の寄付金額は25年以降から全道一位、27年度も15億円を超えました。その一部の1億3千万円を高校生までの医療費無償、認定子ども園保育料の10年間無料等子ども子育て支援に優先的に活用し評価されています。



生活保護受給者自立支援の取り組みを学ぶ（釧路市）

林活研修会

11月22日林活議連では、森林行政で先進的な取り組みを行っている、中川町産業振興室の高橋直樹主任を講師に迎え、「中川町の森林・林業・まちづくり」をテーマに講演会を開催しました。

高橋主任は、木質バイオマスなど大量生産・大量消費の林業が国内で主流となりつつある現状の中で、「中川町では複雑で多様な林業を目指し、薄利多売はしない」と強調されました。具体的な取り組みとして、旭川家具への原木供給や未利用木材資源を活用した手作り商品「KIKORIE」などの説明を受けました。町の経済と林業との関係では、市町村自らがプレイヤーになり、工夫次第で経済効果を何倍にも出来る可能性についても言及されました。



地域の森を生かす取り組みを考える

経済建設常任委員会視察報告

深川市・旭川市・滝川市・美唄市

委員会では年間の課題を「除排雪の調査・研究」とし10月24日から25日までの2日間で深川市、旭川市、滝川市、美唄市の4市において視察研修を行いました。

各市の特徴的な状況ですが、深川市では新雪出勤基準は積雪10cmで、新雪が多い時はスクールバス幹線路線等の除雪を断続的に日に4〜5回行っており、排雪は年3〜4回実施しています。13名による市直営の除排雪部門を設けて、幹線道路の排雪を適宜行っており、苦情があつた場合の排雪作業にも対応しています。

また、「除雪サービスセンター」を設置し、除排雪のあらゆる問題に関し業務の窓口の一元化を図っています。

旭川市では「旭川市雪対策基本計画」を策定し、幹線排雪は車線ごとに基準値を設け車道・歩道の確保を図り、生活道路も幅員管理基準を設け実施しています。特徴的な点

として、地域協働の雪対策があり、「永山第3地区市民委員会」では、市民委員会として雪捨て場の確保をしており、町内の空地11か所（1,000坪）を無償で借りダンプ400台ほどの雪捨てを可能にし、道路パトロールや歩道の砂散布、除雪弱者の自宅周辺の除雪などを行っているそうです。

滝川市では、排雪は、幅員確保ができなくなると予想される場合に実施しています。生活道路の排雪は実施していませんが、年間2〜3回小型ロータリー10台で拡幅除雪を実施し、交差点の事故防止、見通し確保のためシーズン2回を限度として交差点排雪を実施しています。補助制度として「市道排雪モデル事業」や無償の「小型除雪機貸与事業」、社会福祉協議会に委託している玄関前の除雪サービスなどがあり、貸与車両を社会資本整備総合交付金・防衛

補助を活用して増強・更新をしています。

美唄市の新雪の除雪出勤基準は、車道13cm、歩道10cm以上になると出勤、幹線道路の排雪は、2車線確保できなかった場合、片積みが難しく雪山が高くなる場合と歩道も交差点が見通せる高さ1m程度で排雪しています。生活道路や幅員の狭い道路は、空気に雪を押し込むことができなくなると排雪していません。「美唄市間口除雪事業条例」を福祉予算で実施しています。

以上、4カ所での視察研修を行ってきましたが、今後も道内の先進的な取り組みを参考にし、名寄市の除排雪に取り入れていく具体的な提案を提案するた

めに委員会として協議を進めていきます。

旭川市永山第3地区市民委員会会長の話を聞く



旭川市永山第3地区市民委員会会長の話を聞く

本定例会には延べ20人の市民の方に傍聴にきていただきました。

一人でも多くの市民の皆さんが市政に関心を持って議会に足を運んでいただけることをお待ちしております。



住民の声で議会の活性化を!!
議会の傍聴しませんか!



定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また、臨時会も必要に応じて開催されます。

◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。

◇問い合わせは議会事務局(☎01654-3-2111)へお申し出ください。

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

当委員会では9月5日に委員会を開催し、初の取り組みとして、行政視察で訪問した自治体等の調査事項について議員間で内容の評価並びに名寄市へどのように反映することができのかなどについて委員間議論を行いました。10月18日には委員会の位置づけで名寄商工会議所と複合施設としての図書館について、商工会議所が市に提出した「公共図書館を含む複合施設の開発について」、当委員会が視察した複合型図書館の事例を報告し合いながら意見交換を行いました。11月21日には所管事項の報告として、男女共同参画に関するアンケートや地域おこし協力隊活動状況等について説明を受けました。



複合型図書館について意見交換

市民福祉常任委員会

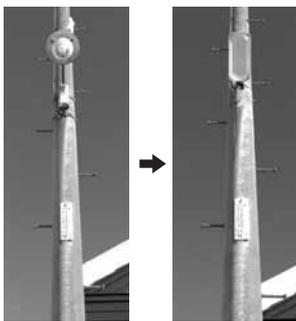
10月3日開催の委員会では行政視察の意見交換を行ったのち、清峰園へ出向き社会福祉事業団の運営現況の報告と施設視察を行いました。11月22日の委員会では市民部から30年度から国保制度の財政運営の主体が都道府県に変わることに伴う納付金仮算定結果等について、健康福祉部から第2期地域福祉計画素案及び介護人材確保の緊急対策事業等について、市立病院から28年度第2・四半期までの収支、医療事故に伴う損害賠償についてなどの説明を受け質疑を行いました。12月12日の委員会では第4回定例会付託議案「介護保険法及び介護保険法施行令改正に伴う介護保険関係条例の整備に関する条例の制定について」審査し、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



竣工した市立病院つぼみ保育所視察

経済建設常任委員会

委員会を11月9日・11月21日に開催し、10月24・25日に行った視察の内容について委員間で意見交換しました。視察の内容については別に掲載の視察報告をご覧ください。委員間の議論では視察先の特徴的な取り組みを名寄市の状況に当てはめ、改善点について意見を出し合いました。所管の事業については建設水道部から除排雪計画・防犯灯LED化事業、事業・工事の進捗状況。経済部から名寄市農業・農村振興計画、担い手支援策の検討、観光振興計画見直し、住宅改修事業、ピヤシリ温浴施設について報告があり、質疑を行いました。また、第4回定例会に提案予定の補正予算案について説明を受けました。



年度内に完了する、環境に優しい防犯灯のLED化事業

議会運営委員会

平成28年第4回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、11月28日、12月7日、15日、16日に委員会を開催しました。11月28日の委員会では、会期を11月30日から12月16日までの17日間とすること、14名の議員が一般質問を行うことを確認しました。市長からの提出議案26件を定例会初日に審議すること、追加議案は3件の予定で最終日に審議することを確認しました。議案第1号介護保険法及び介護保険法施行令の改正に伴う介護保険関係条例等の整備に関する条例の制定についてを市民福祉常任委員会に付託すること、請願第1号「現行の介護保険サービスの継続と介護従事者の処遇改善を求める意見書」提出の請願を当委員会に付託することを確認しました。請願の審査は12月7日、15日の委員会において行い、全会一致で採択すべきものと決定し、最終日の本会議にて委員長報告を行いました。

☆ き ぽ う ☆



住民と病院の懸け橋
「名寄市立総合病院サポートクラブ」
名寄市西7条南3丁目 田畑 忠行

広域の総合病院として、ますますその役割が増している名寄市立総合病院の未永い存続と発展を願う一方、私たち住民も限られた医療資源の中で、上手な救急医療等のかかり方に心がける事も必要と思います。こうした想いを形にすべく応援組織の立ち上げに向け、市民有志が集い、活動内容等の話し合いを重ねてきました。

多くの個人・団体のご賛同、ご参加をいただき平成27年7月21日、市民と病院との懸け橋となり病院と共に歩み支えることを目的に“名寄市立総合病院サポートクラブ”として発足しました。主な事業は、病院の環境整備としてフラワープランターの設置や周辺の清掃、院内コンサートの開催、年2回広報誌を発行し町内会に配布するなどしています。地域住民が安心して暮らせることは共通の願いでもあり、私たちの関わりの中で多く皆様に少しでも“元気と希望”を届けられる活動を目指しています。



ロータリークラブと地域へのつながり
名寄市西4条南5丁目 吉田 次男
今年度名寄ロータリークラブ会長を務めております。

ロータリークラブは、人道的な奉仕を行いあらゆる職業において高度の道徳的基準を守ること奨励し、かつ世界における親善と平和の確立を寄与することをめざした職業人の集まりであり、己を成長させ人を育て、職業を通して地域社会、そして世界に貢献する団体であります。

地域社会奉仕の一環として毎年CO₂削減を目的に、未来の森プロジェクトに桜の苗木の植樹に参加しており、また将来社会に貢献し得る人材を育成する目的で、名寄ロータリークラブ独自の奨学金制度を設けており少しでもお役に立てていただこうとする事業であり、これからもロータリークラブの一会員として新たな地域での繋がりを模索する毎日であります。

表紙の写真紹介

今回の写真は、12月3日に児童センターでおこなわれた「おもちつき会」の写真です。子どもたちは支えてもらいながら大きな杵を振り下ろし、一生懸命お餅をつきました。自分たちの手で丸めたつきたてのお餅はとてもおいしかったです。

市議会からのお知らせ

市議会では、議会基本条例に基づいて、市民の皆さんに議会の活動に関する情報公開を積極的に行っていきます。
本会議の会議録を公開するとともに、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の概要、議会議中継（録画含む）も名寄市議会ホームページからご覧いただくことができます。（ホームページのアドレスは下記に記載しています。）

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。昨年は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍に大きな感動が広がりました。道内では、北海道日本ハムファイターズの日本一、コンサドーレ札幌のJ1昇格など、うれしいニュースに沸き立ちました。名寄市でも、ユースオリンピック冬季競技大会カーリング競技で大活躍した高校生や、ウィンタースポーツコンソーシアム事業で躍動する若い姿に大きな声援が響きました。現実に目を向けると少子高齢化に拍車がかかり、財政面でも合併算定替により非常に厳しい状況ですが、名寄市総合計画（第2次）がスタートする年でもありません。西年に相応しく翼を広げ、それぞれの夢に向かって羽ばたくことのできる年になるよう願っています。私たち議員も市民の皆様の意見を真摯に受け止め、共に頑張りませう。

（真）

